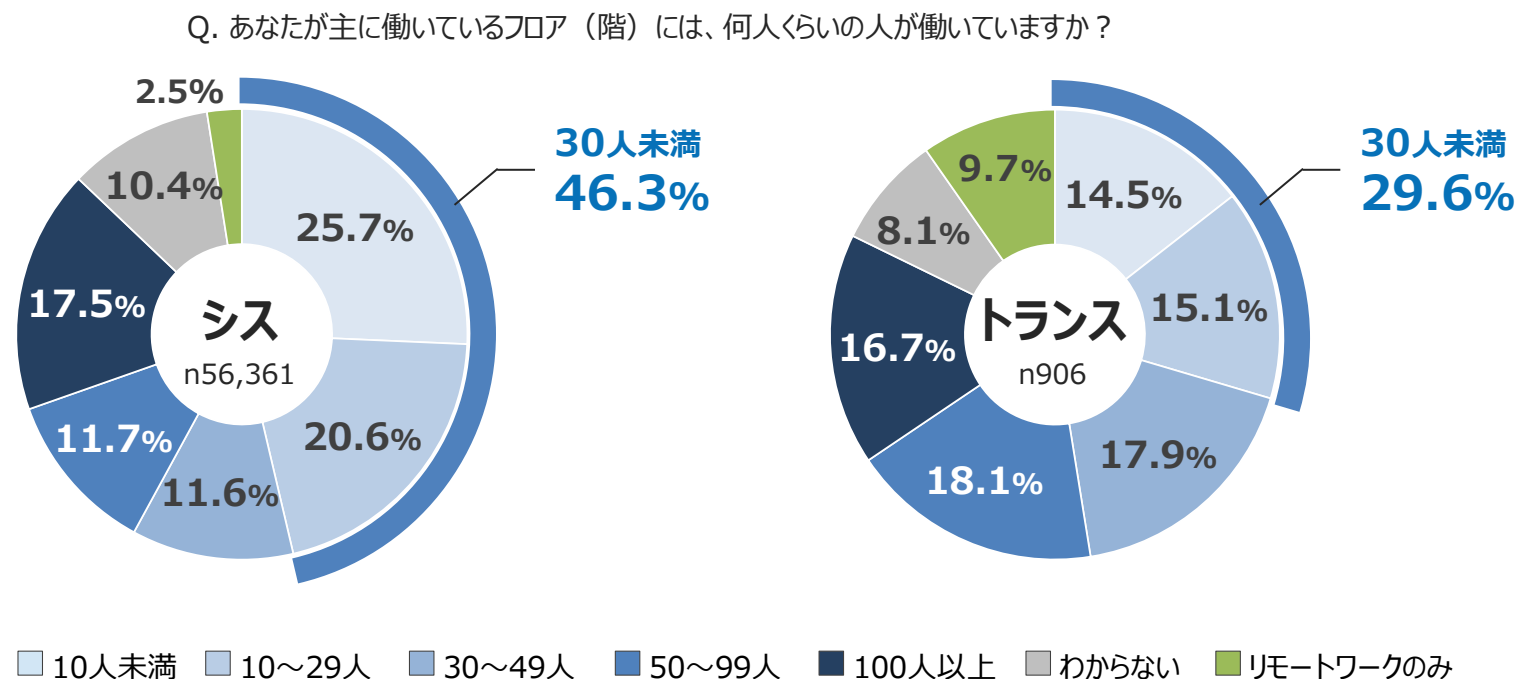


3. 調査結果報告

3-2. 就労状況・プライベート状況

就労状況：オフィスの規模／1フロアの就業人数（シス／トランス）

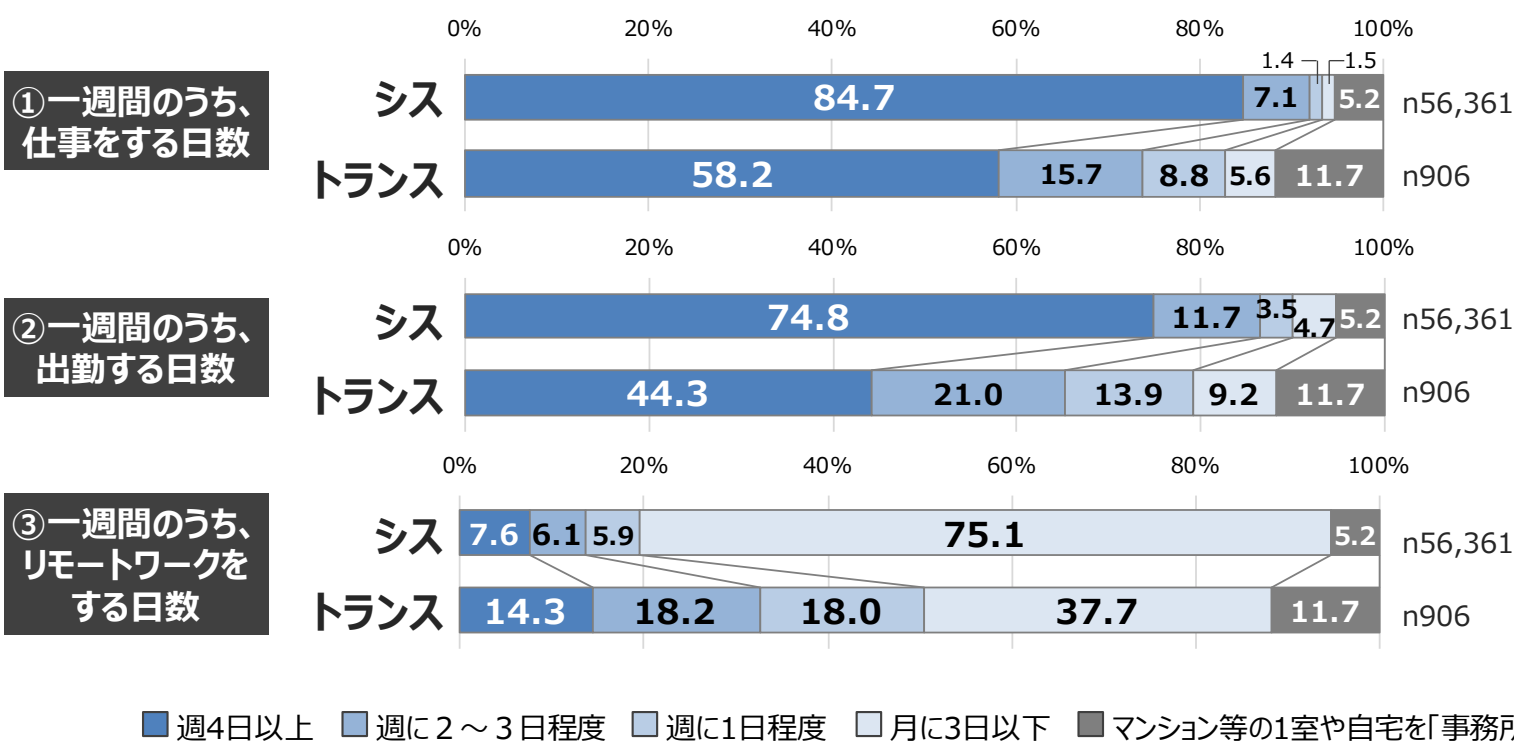
- 1フロア30人未満の比較的小さいオフィスに就労している人の割合はトランスよりシスの方が高く、シス46.3%に対しトランスは29.6%。
- リモートワークのみと回答した人は、シスよりもトランスの方が割合が高く、シス2.5%に対し、トランスは9.7%。



就労状況：一週間のうち、仕事をする日数と職場に「出勤」する日数、リモートワーク日数（シス／トランス）

- 週4日以上働いている人は、シスでは8割以上に対し、トランスは6割未満。マンション等の一室や自宅を事務所としているトランスは約1割に対し、シスは5%程度。
- 週4日以上職場に「出勤」している人は、シスでは7割以上に対し、トランスは半数に満たない。
- リモートワークをしている人は、シス・トランス共に月3日以下が最も多く、シスは7割以上、トランスは約4割。

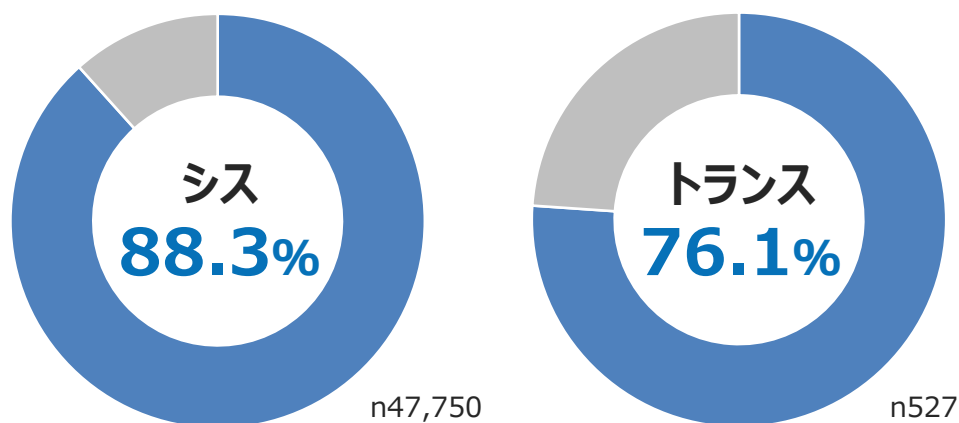
Q.あなたの勤務形態（働き方）をお知らせください。（SA）
一週間のうち、①仕事をする日数、②職場に「出勤」する日数、③「リモートワーク（テレワーク）」をする日数をお知らせください。



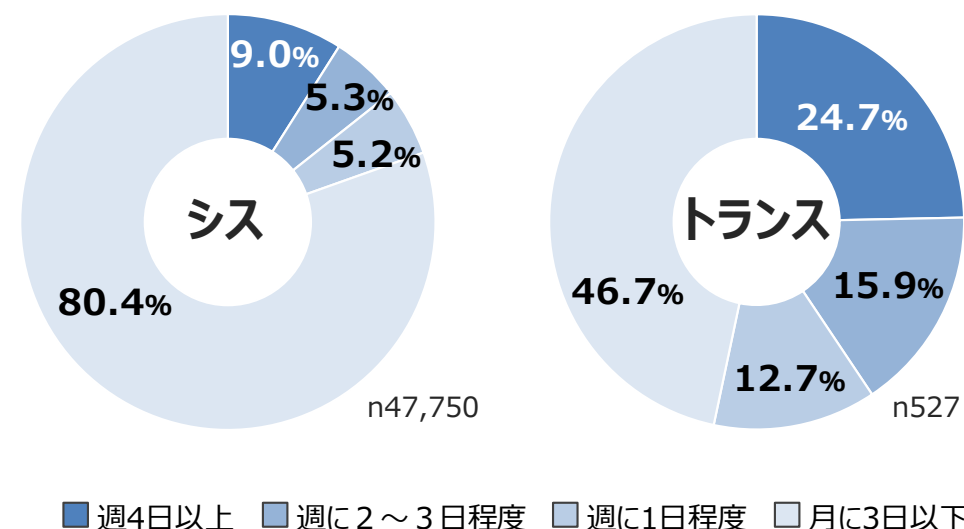
就労状況：週4日以上仕事をする人の「出勤」と「リモートワーク」の状況（シス／トランス）

- 週4日以上仕事をする人のうち、週4日以上「出勤」している人は、シスでは9割弱であるのに対し、トランスでは75%程度。
- 「リモートワーク」を週4日以上する人は、シスは1割弱であるのに対し、トランスは約25%。週2～3日程度では、トランスはシスの3倍、週1日程度では約2.4倍。
- 「リモートワーク」が月3日以下の人は、シスでは8割を占めたのに対し、トランスは半数未満。

週4日以上仕事をする人のうち、週4日以上「出勤」している人



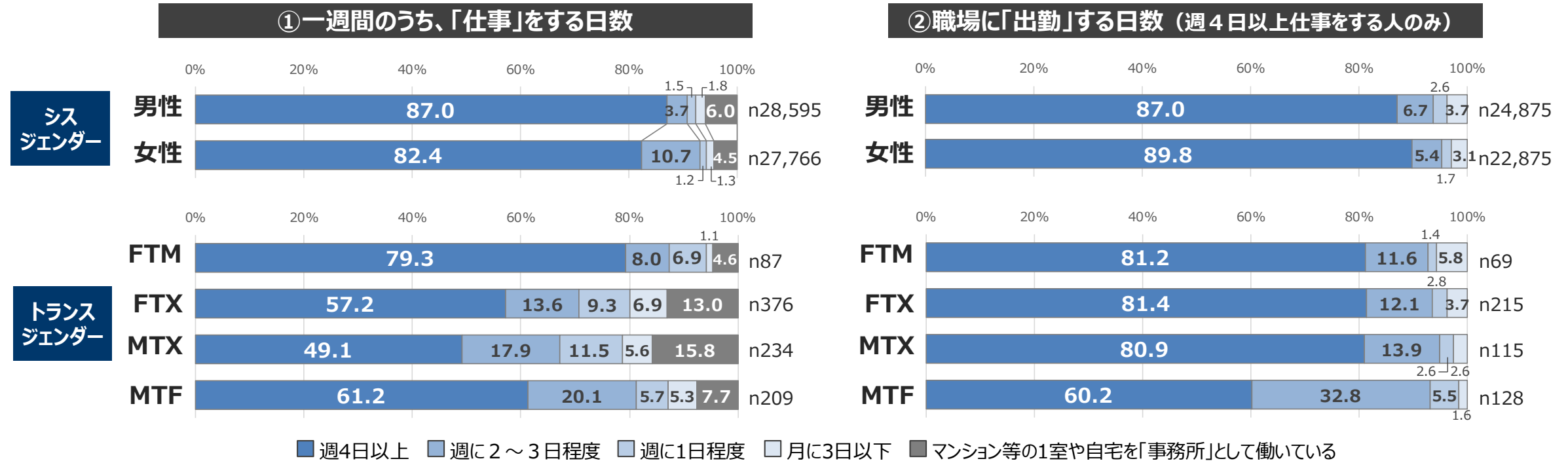
週4日以上仕事をする人が、「リモートワーク」をする日数



就労状況：一週間のうち、仕事をする日数と職場に「出勤」する日数（シス男女／トランス4区分）

- 週4日以上働いている人は、シスでは男性の方がやや多い。トランスではFTMが約8割で最も多く、FTXとMTFは6割前後、MTXのみ半数未満と少ない。
- 週4日以上働く人のうち、職場に「出勤」している人は、シスでは男女とも9割近い。トランスはMTF以外は約8割だが、MTFのみ約6割と他より顕著に低い。

Q.あなたの勤務形態（働き方）をお知らせください。一週間のうち、①仕事をする日数、②職場に「出勤」する日数をお知らせください。（SA）

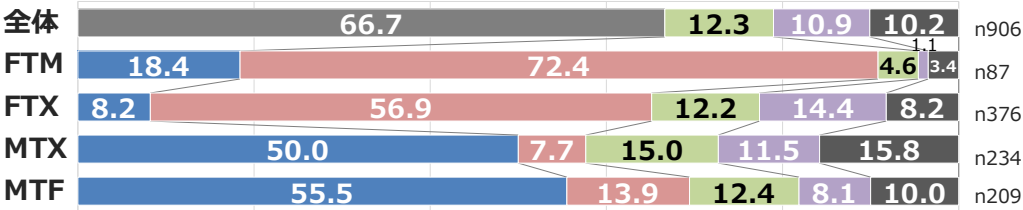


トランスジェンダーの職場とプライベートでの性別：「実態」と「希望」

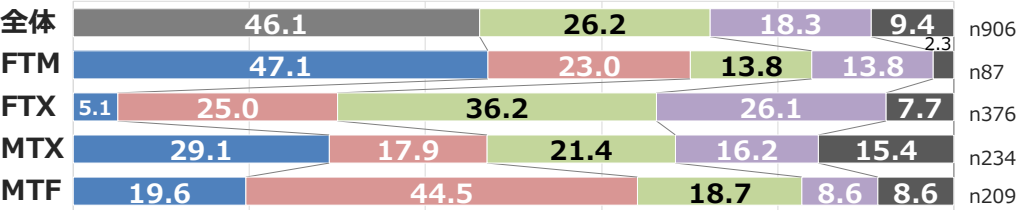
- 職場、プライベートの性別は「実態」、「希望」共にさまざまである。
- 職場での「実態」は、どのジェンダーでも「出生時の戸籍性別」で働いている割合が最も高い。一方、「希望」では、MTXを除き「自認する性別」が最も高く、「自認する性別」で働くことの難しさがうかがえる。
- プライベートでの「実態」は、職場に比べて「自認する性別」が高くなる傾向が見られた。「Xジェンダー」と回答した人の割合は、すべてのジェンダーで職場の「実態」よりも高い。「希望」では、「自認する性別」が最も高く、職場と比べて割合に大きな差はみられなかった。

職場で働いている性別／実態

Q.あなたは現在、「職場」ではどの性別で働いていますか？（実態）また、どの性別で働きたいと思いますか？（希望）※主に働いている職場について

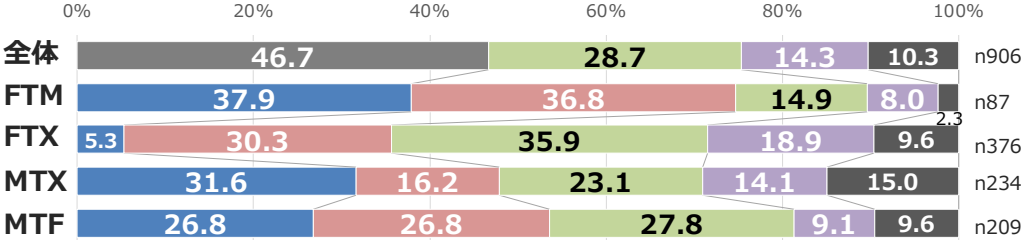


職場で働きたい性別／希望

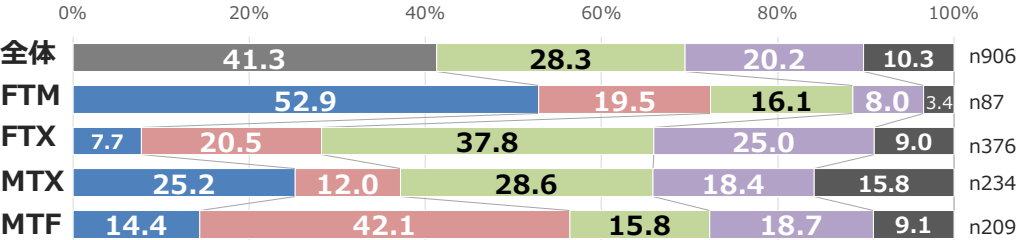


プライベートで過ごしている性別／実態

Q.あなたは現在、プライベートでの外出時はどの性別で過ごしていますか？ また、どの性別で過ごしたいと思いますか？



プライベートで過ごしたい性別／希望



■ 男性 または 女性 ■ 男性 ■ 女性 ■ Xジェンダー・中性・無性など ■ わからない・決めたくない・その他 ■ 答えたくない

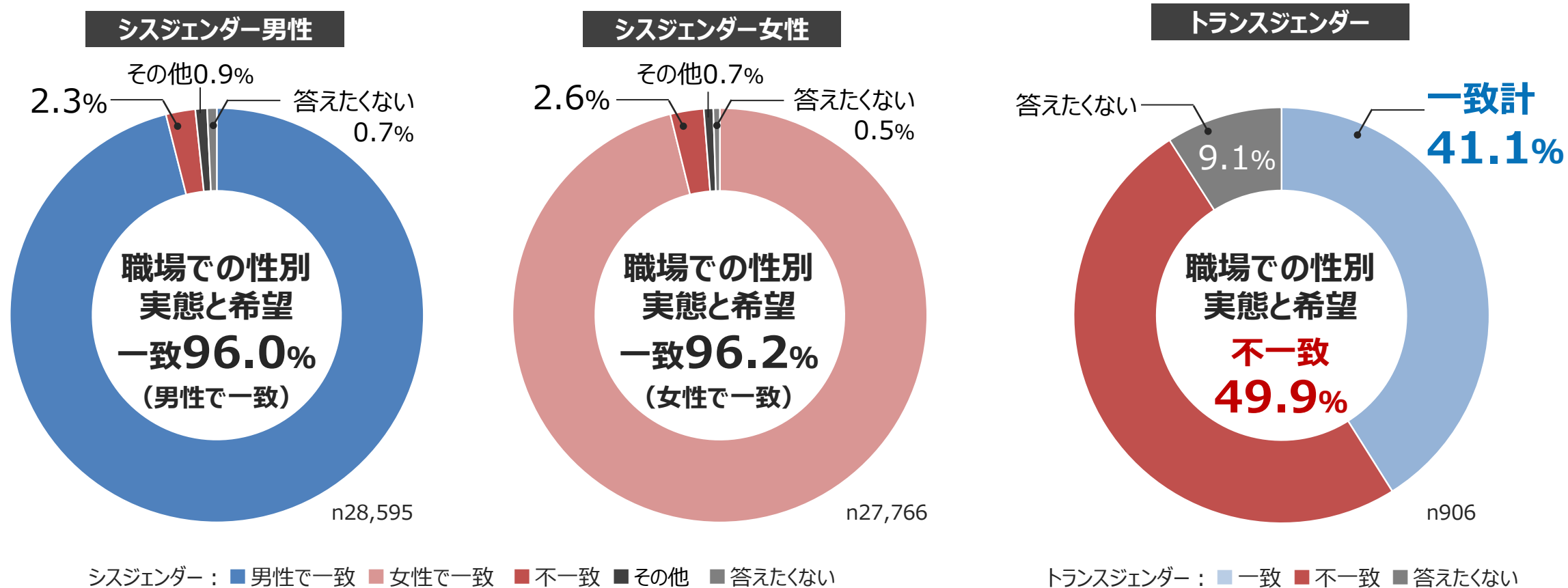
回答者の職場での性別：実態と希望の一致状況（シス男女／トランスジェンダー）

※実態と希望の一致・不一致の考え方に
ついては、p.31を参照

- 実際に働いている性別（実態）と働きたい性別（希望）は、シスジェンダー男女がほぼ全員「男性または女性」で一致しているのに対し、トランスジェンダーは約半数が「不一致」。

Q.あなたは現在、「職場」ではどの性別で働いていますか？（実態）また、どの性別で働きたいと思いますか？（希望）

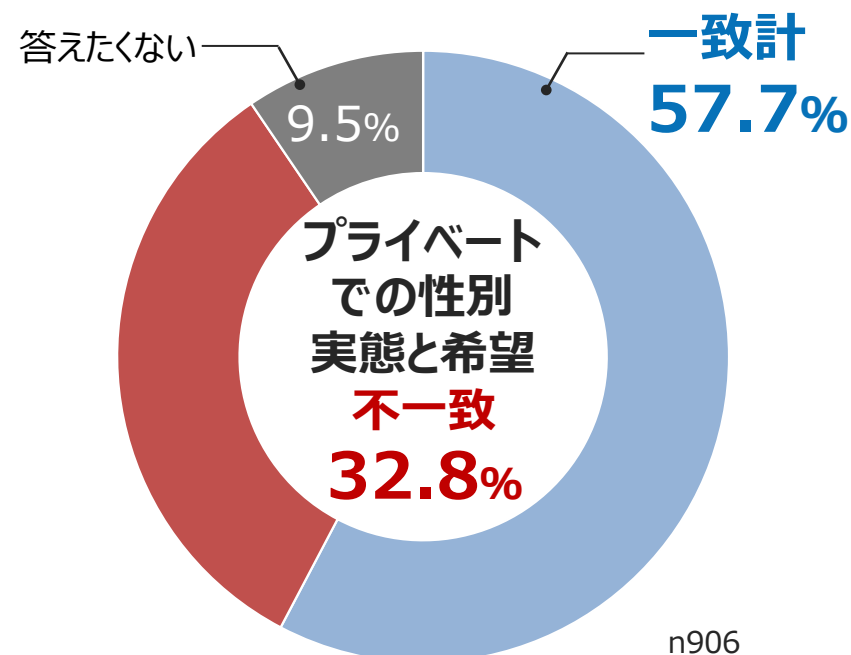
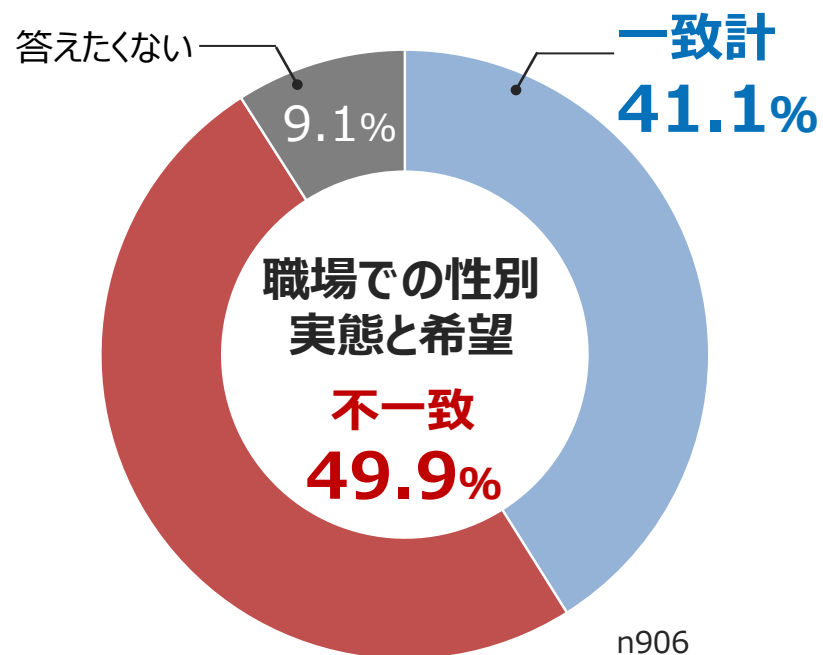
※主に働いている職場についてお答えください。



実態と希望の一致状況：「職場」と「プライベート」の比較（トランスジェンダー全体／概要）

- 「一致」の割合は、職場では約4割に対し、プライベートでは約6割。
- プライベートでは、職場よりも希望する性別で過ごすことができる。

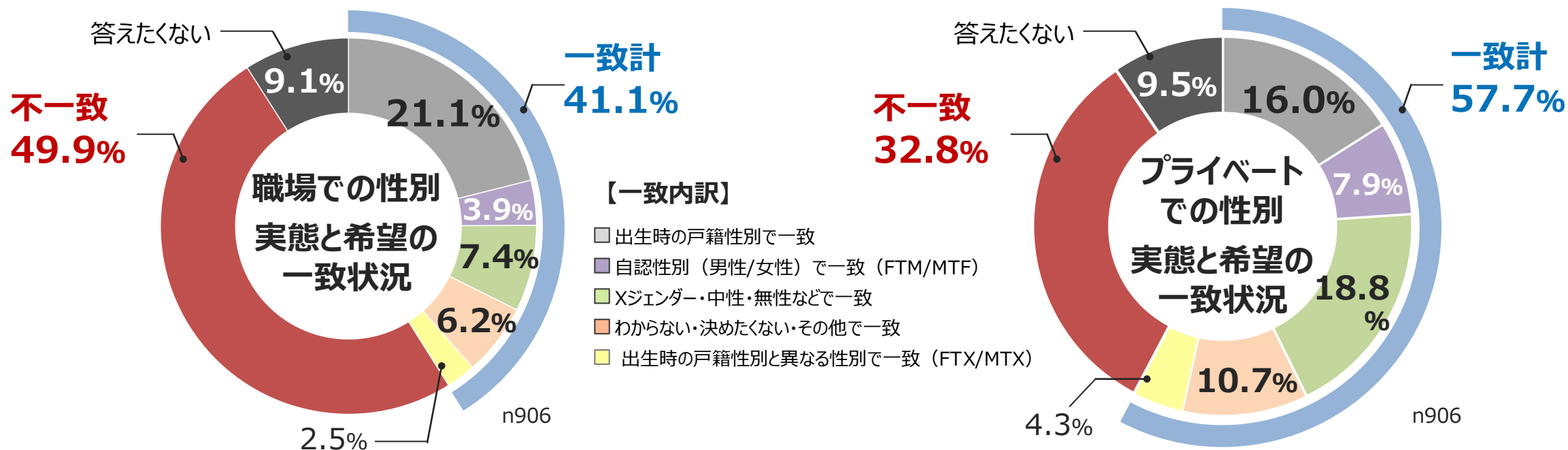
Q.あなたは現在、「職場」ではどの性別で働いていますか？（実態）また、どの性別で働きたいと思いますか？（希望）※主に働いている職場についてお答えください。
さらに、「プライベートでの外出時」における性別についても同様にお知らせください（実態／希望）。（SA）



トランスジェンダー： ■ 一致 ■ 不一致 ■ 答えたくない

実態と希望の一致状況：「職場」と「プライベート」比較（トランスジェンダー全体／詳細）

- 「一致」のうち、「出生時の戸籍性別で一致」のみ職場の方が多く、「自認する性別」で働くことをあきらめていたり、割り切ったりしている人もいと考えられる。
- 職場では、「Xジェンダー・中性・無性など（ノンバイナリー）」、「わからない・決めたくない・その他（いわゆるクエスチョニング、クィア等）」で一致している人、「出生時の戸籍性別と異なる性別※」で一致している人が計16.1%、プライベートでは33.8%。 ※FTXの男性、MTXの女性

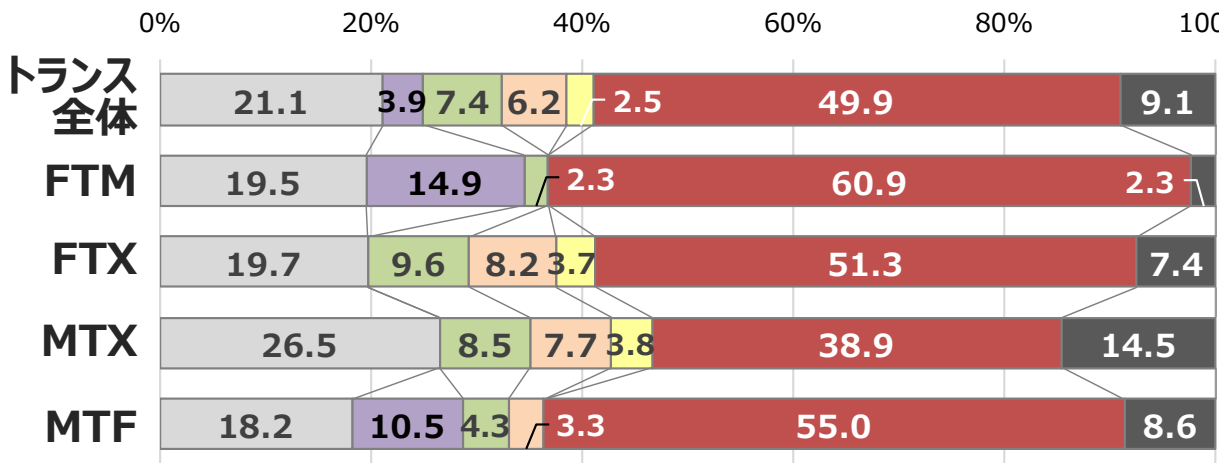


- ✓ 職場で性別を移行するには、何らかのカミングアウトをし、さらにそれが受け入れられることが重要だが、困難なことも多い。
- ✓ 「出生時の戸籍性別」で一致している人は、「性自認で一致」している人や「不一致」の人に比べ、服装や髪型などの外見を変えたり、ホルモン治療等を受けたりするなどの性別違和への対応をしていない人も多いと考えられる。しかし、対応していない場合でも、必ずしも性別違和が小さいとは限らない。

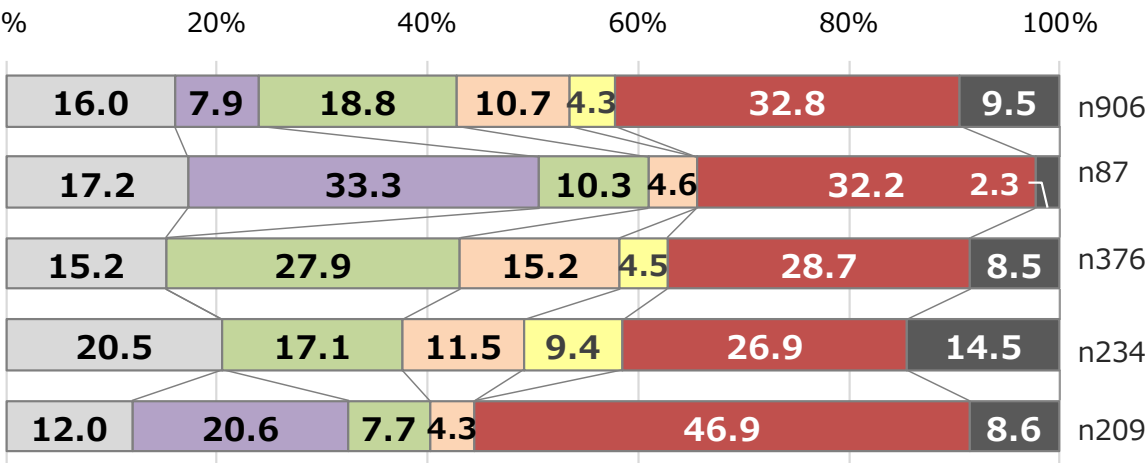
実態と希望の一致・不一致状況：職場とプライベート比較（トランスジェンダー4区分）

- 職場に比べ、プライベートでの「不一致」は全体的に減っているが、MTFは5割弱と依然高い割合。FTMでは「自認性別（男性）で一致」が約倍増した分、「不一致」は職場の約半数になっている。
- 「出生時の戸籍性別で一致」も、プライベートでは職場よりも減っている。
- FTMとMTFの「自認性別で一致」は、職場に比べてプライベートでは約2倍となる。
- プライベートでの「Xジェンダー等で一致」は、FTXでは約3倍、MTXでも約2倍。FTM、MTFでもその割合は増えている。

職場での性別：実態と希望の一致・不一致状況



プライベートでの性別：実態と希望の一致・不一致状況



■ 出生時の戸籍性別で一致 ■ 自認性別（男性/女性）で一致（FTM/MTF） ■ Xジェンダー・中性・無性などで一致 ■ わからない・決めたくない・その他で一致
■ 出生時の戸籍性別と異なる性別で一致（FTX/MTX） ■ 不一致 ■ 答えたくない

補足：性別の“実態”と“希望”の「一致状況」凡例について

「職場での性別」、「プライベートでの性別」における“実態”と“希望”の「一致状況」について、凡例の説明を以下に示す。

➤ 下記“実態”と“希望”の各設問に対する回答の一致状況により、分類を行った。

	設文内容	選択肢（単一回答）
実態	あなたは現在、どの性別で働いていますか？	男性 / 女性 / Xジェンダー・中性・無性など / わからない・決めたくない・その他 / 答えたくない
希望	あなたは、どの性別で働きたいと思いますか？	

【シスジェンダーの場合】

実態と希望の回答において、シス男性では「男性」、シス女性では「女性」以外の性別で一致している人は「その他」とした。

【トランスジェンダーの場合】

性自認はグラデーションであるとの前提から、希望と実態の回答において、FTM・MTFの「Xジェンダー等」、「わからない等」で一致、FTXの「男性」で一致、MTXの「女性」で一致、およびすべてのジェンダーにおいて「わからない・決めたくない・その他」で一致している人も、回答者の回答を尊重して「一致」に含めた。

一致の内容	実態と希望の回答状況
出生時の戸籍性別で一致	FTM・FTXでは「女性」、MTX・MTFでは「男性」で一致している人
自認性別で一致（FTM、MTFのみ）	FTMでは「男性」、MTFでは「女性」で一致している人
Xジェンダー・中性・無性などで一致	ジェンダーに関わらず、「Xジェンダー・中性・無性など」で一致している人
わからない・決めたくない・その他で一致	同、「わからない・決めたくない・その他」で一致している人（いわゆるクエスチョニングやクィアに該当と判断）
その他一致	FTXでは「男性」、MTXでは「女性」で一致している人
不一致	実態と希望の回答が一致しない人、および実態と希望のいずれかで「答えたくない」と回答した人
答えたくない	「答えたくない」で一致している人